

地域の伝統芸能に挑戦

4年 比嘉美空

日曜日に学習発表会がありました。最初に幼稚園児から6年生まで全員で全体合唱をしました。校歌と「ピリーブ」を歌いました。



私たち四年生は、地域の伝統芸能の「スーマチ棒」と「組棒」を演技します。お父さんがそのやり方を教えてくれました。みんなで練習したことを発音するためにがんばりたいと思っていました。とうとう四年生の番になり、私の心ぞうは、ドクドクと音をたてていました。

「サーサーサーサー」最初から、みんなで大きな声を出すことができました。棒をしっかりと持ち、練習通りに移動をすることもできました。「スーマチ棒」は上手にできたと思いました。

次は「組棒」です。ペアのきららさんと息を合わせて、力強く演技しようと思いました。二人で「エイ」と大きな声を出しながら、棒をそろえることをいしきして演技しました。上手にできて、ほっとしました。演技が終わって、大きなはく手を聞いたときは、みんなで協力して良かったと思いました。

学習発表会が終わると、お母さんやお父さんに「とても上手だったね。」と、ほめられて、うれしかったです。来年は三線にチャレンジします。(沖縄タイムス 12月13日掲載)

世界のウチナンチュ

2年 とうま ゆすな

学校で「世界のウチナンチュけんしゅう生交りゆう会」がありました。ペルー、アルゼンチン、ハワイ、ブラジルの国から、おきなわのことを知りたくて、ぎのざ村にやって来たけんしゅう生が松田小学校に来ました。



4人のけんしゅう生が日本語で自分の国のしょうかいをしてくれたことに、すごくびっくりしました。それぞれの国には、おいしそうなお食べ物やめずらしい動物のしょうかいもありました。

きれいなかんこう地のしょうかいも、してくれました。ひこうきにのっても何十時間もかかるブラジルなど、ほんとうに遠いところからやって来たんだなあと思いました。

しつもんタイムで、上級生がいろいろしつもんしていることにも日本語でこたえているので、またまたびっくりしました。

わたしの知らない国がたくさんあり、いつか行ってみたいと思いました。

(琉球新報 12月18日掲載)

けんぱんハーモニカできた

1年 こばやし ゆう

おんがくのじかんに、けんぱんハーモニカのひきかたをおしえてもらいました。

はじめて、けんぱんハーモニカをひくので、たのしみにしていました。けい子先生におしえてもらいました。ひきかたがむずかしかったけど、れんしゅうしたら、ひけるようになりました。

れんしゅうしたらすぐに「あのね」のきょくが、ひけるようになったので、たのしくなりました。べつのきょくも、すぐにひけるようになったので、もっとたのしくなって、また、けんぱんハーモニカをひきたくなりました。

ももねえねえからもらった、けんぱんハーモニカには、「ドレミファソラシド」と、けんぱんにかいてあったので、ひきやすかったです。(琉球新報 12月23日掲載)



交流会で友だちできた

5年 當眞 さくら

宜野座小学校で宜野座村内にある3小学校が集まって交流会を行いました。

宜野座村には、宜野座小、漢那小、そして私たちの松田小3校があります。毎年、同じ学年が集まって交流を行います。それが三小交流会です。



今年の5学年の交流会は、ハンターゲーム、5色綱引き、銀行ゲーム、仲間集めゲームを行いました。

5色綱引きでは、友だちと協力して5本のうち3本をとることができ勝ちました。仲間集めゲームでは、今まで話したことのない他校の人とお話ができ、いっしょにゲームを楽しむことで、7人もお友だちができて、とてもうれしかったです。

来年は6年生です。もっと交流会を通してお友だちを増やし、3校が集まる中学校で再会ができるといいなあと思います。(琉球新報 12月29日掲載)